

学校だより

尼崎市立明城小学校



令和5年8月25日(金)
8・9月号
NO. 5

http://www.ama-net.ed.jp/school/e01/
尼崎市南城内 10 番地の 1 TEL06-6481-2432

校長 宇川 光平

夏休み中の学校

ここ数年、暑い夏でしたが、それにも増して暑さを感じる夏でした。8月中旬に台風が直撃したものの、日焼けした子ども達を見ると、外で過ごす機会が多かったのかなとも感じています。(少しの外出でも日焼けする日差しでしたが。)

学校では、夏休み中に電子黒板が設置されました。授業での活用については、これまでの黒板と併用する予定です。ほぼ全ての教職員にとって、初めて扱う機器となるので、研修等により、電子黒板の利用に慣れ、電子黒板を使った方がよくなる部分については、積極的に活用していきたいと考えております。

また、5年生が植えた稲も順調に育っています。地域の講師の指導を受けての栽培ということもあり、たくさん収穫できることを期待しています。

先生達は、子ども達が夏休みの間に、2学期に向けて準備をしていました。45分間の授業をただ教科書通りに進めていても、子ども達は興味関心をもって取り組んでくれないので、そこに各先生が一工夫取り入れたり、学級の実態に応じて授業の組み立てをがらりと変えたりします。今学期は、学習内容も行事も盛りだくさんです。子ども達が充実した2学期を過ごせるよう、教職員一同取り組んでいきます。

～夏休みの自由研究・工作～

すでに、夏休みの自由研究や工作は提出したと思いますが、今後の参考になればと思い、自由課題の研究・工作の取り組み方について少し述べます。夏になると、保護者様より、子ども達はどんな研究をすればよいか、どんな工作を作ればよいか等、質問を受けることがあります。明確な答えはないですが、オリジナルの作品・研究であることと、さらに欲を言えば、子どもが興味・関心をもって取り組んでいるものがよいのではないのでしょうか。ただ、各団体の賞を取ることが目的になってしまうのはいかがでしょうか。もちろん、賞が取れたら嬉しいことですし、子どもの自信になりますが、その数は限られています。たとえ賞が取れなくても、子ども達が興味・関心をもって一生懸命取り組んだのならそれで十分です。

具体的に指示されるとできるが、自由に考えてやってみて、と言われると途方に暮れてしまうのが、日本の子どもの弱点だとよく言われます。たとえ、我が子の作品・研究が立派なものに見えなかったとしても、自分なりに考え、仕上げる経験の積み重ねとその習慣自体が将来の財産となります。学校・家庭で大人が褒め、しっかり認めてあげたいものです。

8・9月の行事予定

8月25日	金	始業式（12時下校）定時退勤日
30日	水	夏休み作品展 修学旅行説明会（6年）
31日	木	夏休み作品展
9月1日	金	給食開始 明城漢字検定 放課後学習 定時退勤日
4日	月	自然学校（5年）（～8日） PTA 給食 食会（家庭科室）（～7日）
5日	火	放課後学習
6日	水	PTA 学年ふれあい活動（3年）
8日	金	明城漢字検定 放課後学習 定時退勤日
12日	火	学校朝会 放課後学習
13日	水	委員会
14日	木	代表委員会
15日	金	明城漢字検定 放課後学習 定時退勤日
18日	月	敬老の日
19日	火	児童集会 放課後学習
20日	水	クラブ
21日	木	修学旅行（6年）（～22日）
22日	金	定時退勤日
23日	土	秋分の日
26日	火	放課後学習
27日	水	全学年5校時終了後下校 （職員研修のため）
29日	金	校外学習（1年）定時退勤日
≪10月の主な行事≫ 21日 体育大会 25日 就学時健康診断		



○**実地教育研究生等**

9月中旬は、関西学院大学や大阪教育大学の学生が本校で現場実習をします。教育実習程長くありませんが、1～2週間、担任の補助的な役目をしたり、学習活動を参観したりします。

将来、子ども達の教育を支えるよき人材になってほしいと思います。

○**全国学力学習状況調査の結果が出ました。**

6年生が4月18日に受けた全国学力・学習状況調査の結果が出ました。

国語14問、算数16問をそれぞれ半分強解いたくらいが、本校の平均正答率でした。各児童がもう1問正答を得られていたら、全国平均並みだったと言えます。

本校6年児童の平均値を全国平均と比較すると、領域によって極端にできていなかったり、逆にできていたりするという特徴は見当たりませんでしたが、さらにデータを精査し、今後の指導に繋げていきたいと思います。出題された問題の復習もいたします。

また、ご家庭にも個人別の調査結果をお渡しいたします。領域ごと、設問ごとの結果が出ておりますので、その結果を元にご家庭でも学習内容を考えていくのがよいでしょう。そのような時間がさけない場合でも、少なくとも、同じ問いが出たら解けるようにしておきましょう。

「うちの子はそもそも家での学習量が足りないのでは?」「集中して学習していない」と感じられている保護者の方は、その状況を打開するための手立てを講じてほしいと思います。担任、その他の先生、お知り合い、インターネット上で様々な方法を見つけることができます。「これをやれば、直ちに解決!」というものは、すぐに見つからないかもしれませんが、あれこれ試すことに意義はあります。学校でも、家庭でも大人があきらめることなく、根気強く子ども達を支援していくことが大切です。